

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

2640 地区ガバナー 北野 治義

2025-2026年

Rotary District 2640 Japan



ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 大江 久夫 幹事 田中 淳 SAA 榊原 由希子

第 2245 回例会



2026 年 1 月 26 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

会員卓話 職業奉仕について



1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 30 名

出席義務規定適用免除会員 1名

出席率 76.92% 前回修正出席率 84.62%

4. 会長スピーチ

副会長 中西 秀文 君

皆様こんにちは。大江会長病氣療養中で欠席となりますので、その間副会長中西が代理をさせていただきます。どうかよろしくお願い致します。初めに 1 月19日(月) 13:30～開催されました理事会報告をさせていただきます。



【報告事項】

1) フィリピン・マンドゥエイイースト RC への訪問

2/21(土)から 2/23(月)の日程で訪問し、現地視察の予定 (参加者)上田さん、寺下さん、前田克さん、楠部さん、榊原さんの 5 名

2) 地区立法案検討会

1/25(日)ホテルアバローム紀の国で開催 田中幹事出席 議題①2026～2029 年度 規定審議会代表議員選出の件 ②ワールド大阪ロータリーE クラブ復帰の件

当クラブから田中幹事が会長の委任状をもって参加 田中幹事より補足あります。

3) 宮崎中央 RC 創立 40 周年式典祝賀会参加

4/11(土)シーガイアコンペンションセンターにて開催予定 登録料 15,000 円、申込締切 2/20(金) 現在 7 名の申し込み

・協議事項

1) 海南クリーンアップ作戦の実施

2/15(日)9:00 に商工会議所駐車場に集合

担当は、社会奉仕委員会。お弁当は無し、雨天の場合は中止→2/16(月)に RC 例会を振替で開催する。

中止の決定は金曜日。ボランティア保険に加入。

寺下さんに軽とトラを出してもらおう。

2) 前ガバナー補佐のお母様の葬儀にあたり、海南東 RC より弔電を送る。

この後、引き続き職業奉仕についての会員卓話になっていますので、今日は発表される皆様よろしくお願い致します。

5. 幹事報告

幹事 田中 淳 君

○例会臨時変更のお知らせ

海南西 RC 2月26日(木) 19:00～

Festa(フェスタ)

和歌山北 RC 2月16日(月) 18:30～

和韓食 わらいや

和歌山南 RC 2月20日(金)→18日(水) 18:30～

アバローム紀の国

(和歌山東南 RC との合同夜間例会)

高野山 RC 2月20日(金)→19日(木)

第4分区分5クラブ合同例会

田辺 RC 2月5日(木) 12:30～

きのくに信用金庫田辺支店3階

19日(木) 12:30～

きのくに信用金庫田辺支店3階

○例会休会のお知らせ

和歌山北 RC 2月23日(月・祝)

高野山 RC 2月27日(金)

田辺 RC 2月12日(木)

6. 委員会報告

○社会奉仕委員長

重光 孝義 君

海南クリーンアップ作戦の実施について、2/15(日)9:00 に商工会議所駐車場に集合、お弁当はありません。また、雨天の場合は中止→2/16(月)に RC 例会を振替で開催。

ボランティア保険加入しますので、出欠の連絡をお願いします。



1月は「職業奉仕月間」です



世界でよいことをしよう



四つのテスト お手はこれにておしえてから

①真実かどうか ②好意と友情を深められるか
③みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



よいことの
ために
手を取りあおう

事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

7. 表彰伝達

○ロータリー財団 寄付クラブ 100%表彰



8. 会員卓話「職業奉仕について」

○楠部 均 君

私の職業は製造業で、ロープやネットの材料となるポリエチレンやポリプロピレンの糸の製造、一部完成品で細いロープや農業で使うネットを造っています。



ロータリーに入会した時、ロータリアンが行うべき奉仕活動には、・クラブ奉仕 ・職業奉仕 ・社会奉仕 ・国際奉仕 ・青少年奉仕の五大奉仕があると教えられました。その中で、職業奉仕とは何をすれば良いのか全くピンときませんでした。職業に奉仕が付いているので、うちの製品をどこかの団体や地域社会に無償で提供することなのかな？とか思っていたくらいです。

その後、例会で先輩方の職業奉仕についての卓話を聞き、ネットで他のクラブのロータリアンが職業奉仕について話している文書を読んだりした上で、私の職業奉仕の理解ですが、奉仕という言葉が入っていますがもちろん無償で汗をかくことではなく、「正当な利益を得ながら正しい倫理観を持って仕事を行い社会に貢献すること」だと私は理解しました。

自分の仕事に置き換えれば、正しい利益を得ながら、お客様によりよい製品を安定的に提供し、少しでも安心して使っていただけるようにする、長期的な信頼関係を構築すること。仕入れ先に対しては Win-Win の関係を目指し、お客様同様、長期的な信頼関係を構築できるようにすること。社員に対しては出来る範囲で少しでも給与を含め働きやすい環境を提供すること。そういったことが、私が職業を通じて社会に貢献できると、すなわち職業奉仕だと思っています。

先週、岸さんがこの卓話で、職業奉仕を実践する上で全てのベースは信頼にあると仰っていましたが、私もそのとおりだと思います。お客様に対して、仕入れ先に対して、従業員に対して、職業奉仕を実践するには、全て信頼関係がなければ成り立たないと思います。これから周りの人々への信頼を少しでも多く作っていくよう努力していきたいと思っています。

○角谷 太基 君

～「三幸」の精神とロータリーの心～

1. はじめに

皆様、こんにちは。本日は「職業奉仕」という、ロータリーにおいて最も基本的でありながら、奥深いテーマについて、弊社の取り組みを交えてお話しする機会をいただき、感謝申し上げます。今回、このような機会をい



ただ、「職業奉仕」とは何かをあらためて考えるいい機会となりました。その中でたどり着いた答えは、私たちの社名である「サンコー」、つまり「三幸」の精神そのものと合致しているということです。

2. 職業奉仕の定義と私の解釈についてですが

ロータリーにおける職業奉仕は、単なる社会貢献活動ではないと理解しています。

職業奉仕とは、「自分の職業を通じて、いかに社会の役に立つ」というビジネスの本質を問うものだと思います。「目先の利益を追うのではなく、まず相手に喜びを提供すること、そして利益は後からついてくる」ということです。「四つのテスト」に照らせば、「真実か」「公平か」「好意と友情を深めるか」、そして「みんなのためになるか」。これを日々実践することこそが、職業奉仕そのものだと感じました。

3. 株式会社サンコーにおける実践例(約 2 分)

それでは、具体的にサンコーではどのような「職業奉仕」を行っているのか。四つ、事例を上げさせてください。一つ目に、「お客様の不平・不満の解消」するための商品開発と販売です。弊社の製品開発の源泉は、お客様からいただく「ボイスカード(お客様の声)」にあります。「高齢の親がトイレで滑って危ない」「ペットの足腰を守りたい」「洗剤を使わずに掃除をしたい」。こうした生活者の切実な声に対し、商品開発と販売を通じて、お応えし、お困りごとを解決し、お客様に満足してもらう。これこそが、メーカーである私たちの「本業を通じた社会貢献」です。

二つ目に、「社内に社員さんの育成と成長」です。弊社では、社員さん同士が感謝を伝え合う「サンクスカード」や、女性が輝ける「えるぼし認定」への取り組みを通じて、働く喜びを感じられる環境づくりに力を入れています。「人の心に貯金する」という経営理念を社員一人ひとりがする実践することで、それが結果としてお客様への誠実な対応、つまりは、高い職業倫理へと繋がっていくのだと思っています。

三つ目に災害用トイレによる地域支援です。先日、海南市さん同様に、和歌山県とも防災用トイレの災害時の優先的供給ということで、防災協定を締結させていただきました。私たちは単に製品を販売するだけでなく、地域の自治体や自主防災組織と連携し、地域の方々の有事の際の備えにお役に立つことも、災害用の非常トイレを作っているメーカーとしての職業奉仕と思っています。

最後に地場産業の活性化と次世代育成です。海南の地場産業である「家庭用品製造販売」の企業として、地域の子供たちの職場見学やインターンシップを積極的に受け入れています。

地元の若者に「海南には世界に発信するモノづくりと産業がある」ということを肌で感じてもらいたいと思っています。

彼らが将来、この街で働く誇りを持てるようにつなげていくことは、地域に対する最大の職業奉仕だと確信しています。

5. 結びになりますが

「買う人、作る人、売る人の三者が共に幸せになる」という弊社の「三幸」の精神に、四つ目の幸せ、つまり「地域社会の幸せ」を付け加えたいと思います。ロータリアンとして、そして海南市に根を張る経営者として、私たちの企業活動を通じた職業奉仕が、地域の発展とともに、巡り巡って自社の発展にも繋がると信じています。これからも皆様と共に、この海南の地から「奉仕の理想」を実践していきたいと思っています。

○寺下 卓 君

はじめに、私の職業経験から。私は高校生の16歳から22歳の6年間、飲食店のコックのアルバイトをしました。学生で何もわからない中、はじめて社会に出て、働くことの意義など、多くを教わりました。そして、将来、自分が働くことと生活していくことをなんとなくわかりました。その後、料理は好きで、ライフワークとして、今も生活の一部になっています。その後、高校を卒業し、就職して、20年間、サラリーマンとして勤務しました。私の職業に対する考え方は徐々に「職場で必要とされる仕事をして、社会においても必要とされる人間になる」と言うことに気づきました。当時、職場の仕事は時代の要請もあり、OA時代の幕開け時期で、その後、大半はコンピュータ関係が主な仕事でした。業務は、マシンの新規導入、立ち上げ、職員の操作研修、システム開発など、多岐にわたり、毎日が多忙で、コンピュータの勉強と実務の繰り返しでした。私の仕事は、新しい分野で常に前任者がいない仕事でしたので、精神的にも責任を重く感じ、毎日が大変でした。しかし、後から思うと上司や部下にもすごく頼られていたように思います。その意味では、仕事で必要とされる人間であったのかなと思います。

そんな中、当時、私の趣味は、魚釣りで、中古漁船を購入し、余暇は加太でタイ釣りなどを約35年間、海で釣りを楽しんでいました。この間、1995年の1月17日、阪神・淡路大震災が起こり、私の趣味の分野ですが、ボランティアの救援活動で支援物資の食料や医薬品を海上から、船で神戸へ運ぶ経験をしました。

その後、私の仕事で転機は、職場で一通りのシステム開発など完成させ、目標に達した時期で、職場に対するお礼奉公もある程度出来たかなと感じた時でした。後継者も育て、精神的にも余裕ができたこともあり、38歳の時、思い切って自分の力で生きていこうと独立、創業を決意しました。1998年、バブル期も終わり、経済不況でしたが、時代は丁度、ITブームに差し掛かった時期でした。これまでの経験と知識や技術を活かし、広い世の中で、地元地域の皆さんにITの仕事で役立とうと会社を立ち上げました。私の仕事は、コンピュータです。業種は情報サービス業です。情報は漢字で書く「情けに報いる」と書きます。そのことを肝に命じ、そして、「世の中やお客様に必要とされる仕事をする」を念頭に事業を始めました。でも、なにせ、はじめは、会社といっても私、一人だけです。志とは裏腹に現実、自分ができる事の限界を感じ、今までのうぬぼれと世間知らずを思い知らされました。



そんな時、小椋さんの紹介と勧めもあり、成り行きでロータリークラブへ入会しました。創業から2年目の2000年1月でした。創業時期で私の身の丈に合わないのではと思いましたが、今から思うと結果、若かったこともあり、自分の励みとして、奮起し、時間もやり繰りし、スタッフも増やし、なんとか頑張る事ができたと思います。その後、ロータリーの多くの方と知り合い、助けて頂き、また、多くのことを教えていただき、学ばせていただいたと感謝しています。

特に私がロータリーで最初にカルチャーショックを受けたのは、2003年、入会3年目で初めて、フィリピン視察に参加した時です。その時、フィリピンでは、日本で考えられないような多くの貧しく、困っている人びとの暮らしを目にしました。そして、地元のロータリーの人たちが汗をかき、一生懸命に奉仕活動していたことに感動しました。その時の経験で、私は初めて「ロータリー」とは意識することが出来たように思います。全世界で200以上の国と地域に36,000以上のクラブが存在し、約120万人のロータリアンがいることも理解できました。その後、数年たち、私の職業で何かできる事はないだろうかと考えていた中、フィリピンから小学校に必要な中古パソコンを送ってほしいとのリクエストがあり、3年間で延べ、約200台を送ることができました。当時、ロータリーの皆さんには、例会終了後、毎週、荷造・梱包や保税倉庫への運搬などの作業を一緒にしてくれました。振り返るとこれも一つの職業奉仕かな。と感じる国際奉仕活動でした。

さらに、会社では、私の母校、県立和歌山商業のインターンシップ(職業体験)を約20年前から、受入れをしています。また、ロータリーでも私の職業を活かし、クラブ奉仕として、ロータリーのホームページや週報など、IT関係でクラブはもちろんの事、2640地区のお手伝いも長く、させていただきました。さらに、行事があるときは看板や動画制作などもさせていただきました。また、学生時代の飲食店でアルバイト経験を活かし、ふるさと海南まつりの出店なども貢献できたかなと思います。この他、職業以外でも個人的には、数年前の海南市の水害時、災害ボランティアに参加し、被災家屋で作業をしました。最近では保護司の活動もしています。明るい社会の実現に向けて、再犯防止、更生援助に微力ですが、取り組んでいます。今後は今、飼っている「ヤギ」達も除草作業等で地域のために役に立たないかななどと考えているところです。

最後に私の26年間のロータリー経験で、職業奉仕とは何か？を考えた時、常に心がけていることは、職業倫理はもちろんのこと、働き始めた時の初心を忘れず「世の中や周りの人に必要とされる仕事をする」であり、そして、情報「情けに報いる」仕事をする事です。

昨今、世間では、私の職業に関係する分野、ITやAI、ネットなどを使った詐欺や犯罪、迷惑行為、コンピュータウイルス、ハッキングなどが日常的に横行しています。本当に嘆かわしい事です。倫理観が薄れてきている世の中。一方、逆に高齢者やネットが出来ない人や弱者が取り残され、無視される不公平な社会や制度な

ど、課題も山積しています。まじめに、地道に、正しく生きてきた人が報われる。そんな社会を築いていかなければならないと痛感している今日この頃です。

ロータリーの四つのテスト①真実かどうか？ ②みんなに公平か？ ③好意と友情を深めるか？ ④みんなのためになるか、どうか？は、素晴らしい倫理指針であり、これからも肝に命じ、何事もこれに照らして、生きていかなばと思っています。

○前田 誠吏 君

この度 IDM の課題でもあり、先輩方のご意見、お考えをお聞きし、大変勉強になりました。特に「ロータリーの樹」の幹が大変太いことについて、ロータリー活動では幹の部分(職業奉仕)がすごく大切なんだと認識いたしました。それで、大切なことは認識しましたが、一体どういう奉仕活動をすればいいのか、明確には見えてきません。多分、「4つのテスト」を実践してとか、ロータリーソングに織り込まれているような正しい姿勢で職業を営むことが職業奉仕ではないかなと考えています。

私の職業奉仕について、私の職業は建設業に携わるマネジメント業を営んでおります。建設業界にも、「近江商人の三方よし」に因んで、「建設業界の三方よし」という謂われがあります。それは、「施主よし、設計士よし、施工者よし」です。この三者が上手くかみ合わなくては満足度の高い良い建物ができません。この三者が上手くいくように調整、補完することが私の業務であり、職業奉仕に繋がるのではないかと考えています。今後もぶれることなく職業奉仕の精神に則り、業務を熟していきたいと思っております。

○的場 盛州 君

はじめに、「職業奉仕とは」をインターネットで検索してみました。職業奉仕とは、ロータリアンが自身の職業を通じて高い倫理基準を保ち社会に貢献する活動です。これは、単に自分の仕事を全うするだけでなく、奉仕の精神を持って職業に取り組み、周囲の人々を幸せにすることを目指します。内容が幅広く理解できるようで、できない感じでした。

昨年、IDM で話し合ったときに「ロータリーの樹」のイラストを拝見しました。職業奉仕が樹木の幹となっており、枝・葉の部分でロータリー財団・国際奉仕・社会奉仕・青少年奉仕に分かれており、根っこから「奉仕の理想」が吸い上げられていました。図からすると、「奉仕の理想」が水や養分の役割であり、職業奉仕という根幹を形成しているように思えました。

私の職業は緑を扱う仕事です。環境問題やグリーンインフラ・地球温暖化を考慮して造園という分野で活動しております。職業柄、そのイラストはとても分かりやすい内容であった。日々の仕事が「奉仕の理想」と直結していると思い、仕事の積み重ねにより、樹木では「根」という部分はとても重要であります。ロータリークラブの根幹となれるように日々努力していきたい

と思います。親睦、クラブ奉仕、助け合いで「奉仕の理想」という養分を吸収して職業奉仕を太い幹にしていこうということは、週一回の例会や親睦会によって絆を深め、ロータリー財団・国際奉仕・社会奉仕・青少年奉仕といった枝・葉を健全なものにしていくことであると感じました。

○土井 元司 君

学校出てから60年。現在78才です。8年間、サラリーマン生活を送り、26歳で海南に戻り今の仕事を始めました。東京の叔父さんより仕事を紹介してもらい最初は機械がなかったので苦労しました。運よく工場を建てた時の社長さんが機械製作する社長の知り合いで紹介していただき、機械を導入することができ、接着剤専門の会社を紹介してくれました。

ややこしい注文が入った時には相談できる様になり加工仕事ですので暇なときは本当に仕事なくなります。仕事を探して大阪へ通っていた時に運よく工場から転勤で来ていた。以前、せわになった人と会うことが出来て農家さん相手の仕事を紹介していただき助けてもらいました。材料はロックウールといい、鉄鉱石より鉄をとった残りのスラグよりつくられています。一番つくられているのは稲作用の培地です。私の仕事は野菜用の培地をつくっています。

一番良かったのは1年を通じて仕事がある事です。

1番大変なのは仕事が無くなる事です。

生まれてから78年。色々な人に助けられてきました。今後も役に立つ品物をつくっていきたく思います。

1番家内には苦労かけています。職業奉仕については、谷脇委員長に聞いて勉強します

7. 閉会点鐘

次回例会 第2246回 2月2日(月) 夜間例会
19:00～ 海南商工会議所 4F
お誕生日、ご結婚記念日のお祝い



ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君 24日に娘の卒業式に行きました。
娘が県知事賞を頂きました。千賀
会長のスピーチは素晴らしかった。
田中 淳 君 地区立法案検討会に出席しました。

